

学校関係者評価委員会 評価結果報告

1. 開催日時：令和3年4月28日（水） 14時～15時20分
2. 場 所：埼玉医療福祉会校舎研究室1
3. 出席者；諸田 一雄（埼玉医療福祉会法人事務局長）  
 黒澤 久美子（丸木記念福祉メディカルセンター看護部長）  
 村田 亨 （同窓会会長/丸木記念福祉メディカルセンター看護師長）  
 原嶋 弥生 （埼玉医科大学病院看護部長）

（敬称略）

オブザーバー：藤山 トキ（埼玉医療福祉会看護専門学校副校長）  
 大野 敏之（埼玉医療福祉会看護専門学校事務長）

4. 事前配布資料

- ・年報（第4版）
- ・令和2年度埼玉医療福祉会看護専門学校自己評価結果
- ・授業評価結果（第一学科）
- ・資格・免許の取得の指導体制
- ・新型コロナウイルス感染防止対策一覧
- ・（当日配布）令和2年度8領域別 看護教育自己評価表

5. 進行

- ・1～10項目について、藤山が補足説明を加えながら話し合い評価していった。

6. 評価項目

- ① 教育理念・目的・人材育成像
- ② 学校運営
- ③ 教育活動
- ④ 学修成果
- ⑤ 学生支援
- ⑥ 教育環境
- ⑦ 学生の募集と受入れ
- ⑧ 財務
- ⑨ 法令遵守
- ⑩ 社会貢献・地域貢献

7. 結果

①教育理念・目的・人材育成像

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
1-1	学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
1-2	理念等の達成に向けた特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	3	2	1

評価コメント（自由記述）

教育理念・目的・人材育成像は学校運営の核として定めているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実習の制限、入学式、教育キャンプ、学校祭等の行事が中止となったが、戴帽式、ケーススタディ発表会、卒業式等の行事は工夫しながら実施できていた。しかし、行事を通して人を思いやる心を育くむこと、大勢で取組むことにより協働の精神や作り上げる創造性が養われる機会が減ったことにより、1-2は評価3とする。

②学校運営

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
2-3	学校運営のための組織を整備しているか	4	3	2	1
2-4	意思決定システムは、規則・規定等で明確にしているか	4	3	2	1
2-5	情報システム化等により業務の効率が図られているか	4	3	2	1

評価コメント（自由記述）

年度初めに運営方針と経営方針（学年方針）、行動目標が明確になっており、かつ、評価もできている。学校運営に関する組織整備については、組織図を基に教員の役割分担が明確化になっており、かつ業務内容も文章化しており人が変わっても業務が継承できる体制ができている。意思決定システムについては、学校関係者以外には少しわかりにくい。

情報システム化については、コロナ禍の影響で大幅な見直しができているということであった。コロナ禍で遠隔授業を実施したが、本校は通信環境が整っていないため、ZOOM等のシステムを使っての遠隔授業はできなかった。事務業務の効率化のためにも情報のシステム化の強化は課題であるとする。

③教育活動

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
3-1	教育の理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4	3	2	1
3-2	成績評価・終了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	3	2	1
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4	3	2	1
3-4	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	3	2	1

3-5	教員の質向上への取組みは行っているか	4	3	2	1
3-6	教員の組織体制を整備しているか	4	3	2	1

評価コメント（自由記述）

教育課程の編成・実施方針が策定されている。成績評価・修了認定基準が明確で適正に運用している。授業評価の実施体制がある。資格・免許取得の指導体制があり全体的に教育活動を適切に行っている。しかし、教員の質向上の取組みについては、コロナ禍で埼玉県主催の専任教員研修会に1名参加したのみで、外部研修に参加する機会がなかった。

④学修成果

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
4-1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-2	資格・免許の取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-3	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	3	2	1

評価コメント（自由記述）

埼玉医科大学グループへの就職率が高く、外部施設就職者を含め卒業生全員が就職できた。1年次より計画的に国家試験対策が実施されており、特に成績別に班を編成した勉強会を実施しており、資格取得のための関わりができています。

卒業生の社会的評価については、実施していないため次年度の課題であると考えます。

⑤学生支援

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
5-1	退学の低減が図られているか	4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制を整備しているか	4	3	2	1
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	3	2	1
5-4	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	3	2	1
5-5	学生寮の設備などの生活環境支援体制を整備しているか	4	3	2	1
5-6	保護者との連携体制を構築しているか	4	3	2	1

評価コメント（自由記述）

「hyper-QU」の診断結果をもとに退学意向がある、又は退学のリスクを抱えている学生に対し個別に支援ができています。しかし、特に1年生の退学者5名は、例年と比較しても多かったです。退学時の面接でコロナ関係の有無を聞いたところ、「あると思う」という回答だった。

経済的支援については、法人奨学金については9割以上の学生が貸与している。また、令和2年度から開始した「高等教育修学支援制度」を利用する学生については事務が対応しており、結果として経済的な理由で退学に至った学生はいなかった。健康管理に関しては、埼玉医科大学および社会福祉法人埼玉医療福祉会の全面的な協力で健康管理の体制は問題がない。

寮の設備、生活環境支援体制については、2人部屋の15宿に入寮している3年生をコロナ禍による感染防止のために1室1人とし、受験勉強に取り組めるように支援した。

保護者との連携はコロナ禍により、すべて文書連絡若しくは電話連絡とし、頻繁に連携をとった。

⑥教育環境

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
6-1	教育上の必要性に十分対応した施設、教育用具等を整備しているか	4	3	2	1
6-2	学外学習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	3	2	1
6-3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1

評価コメント（自由記述）

施設・設備・実習備品等の整備は施設基準を満たしているが、遠隔授業における通信環境の整備が整っていないということで評価を3とした。

学外研修、インターンシップ、第二学科の海外研修はコロナ禍で中止となったため、評価を3とした。コロナの影響で、消防・防災訓練を学内関係者が中心となり、1年生のみ実地訓練をした。防災グッズとして「水、ビスコ、エマージェンシーシート」に加え防災ヘルメットをそろえることができた。（ただし予算の関係で防災ヘルメットは全学生分の準備はできていないということである）

⑦学生の募集と受入れ

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
7-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	3	2	1
7-2	学生募集活動を適切に、かつ、効果的に運用しているか	4	3	2	1
7-3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	3	2	1
7-4	入学選考に関する実績を把握しているか	4	3	2	1

7-5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	④	3	2	1
7-6	入学辞退者に対し、授業料等について適切な取り扱いを行っているか	④	3	2	1

評価コメント（自由記述）

7-1～7-6の項目は適切に実施できている。ただし、令和2年度はコロナ禍の影響で学校訪問ではなく、学校へ電話で連絡を取り、受験についての情報を提供した活動となってしまった。

⑧財務

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
8-1	学校及び法人運営の財務基盤は安定している	4	3	②	1
8-2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っている	4	3	②	1

評価コメント（自由記述）

経営の収入源となる学納金が、第二学科の学生数の極端な減少により、財源の確保ができなかった。減収は致し方ないことなので、評価1ではなく、2でもよいということで2にした。令和3年度から第一学科のみとなるため、募集定員の学生確保とそのためには国家試験の合格率を上げることが課題になるのではないかと。

学生募集として、ホームページ上に、「学校紹介の動画」をアップする意見が、法人から出ているようである。

⑨法令遵守

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
9-1	法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④	3	2	1
9-2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	④	3	2	1
9-3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④	3	2	1
9-4	自己評価結果を公表しているか	④	3	2	1
9-5	学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	④	3	2	1
9-6	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	④	3	2	1

評価コメント（自由記述）

関係法令、設置基準について、看護師等養成所指定規則の指導調査において、留意事項はあったものの、指摘事項はなく適正な学校運営を行っている。また、ハラスメント防止のための方針とマニュアルを整備し、学生便覧に掲載されている。⑨については、全体的に適正な運営が行われている。

⑩社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切：4	ほぼ適切：3	やや適切：2	不適切：1
10 - 1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	3	2	1

評価コメント（自由記述）

例年は関連病院のイベント等にボランティアとして参加しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から実施できていない。MORO HAPPINESS 館で実施している「こども食堂」や「学習支援」におけるボランティア活動をお願いしたい。